

「天満宮」

大在家八雲社は 菅原道真公の命日
(2月25日)にご祈禱をしている

菅原道真 (すがわらの みちざね)
承和12年6月25日 (845年8月1日) -
延喜3年2月25日 (903年3月26日)) は、
日本の平安時代の貴族、学者、漢詩人、
政治家。

「天満」の名は、道真が死後に送られた神号の「天満 (そらみつ) 大自在天神」から来たといわれ、『日本書紀』の「虚空見 (そらみつ)」から、あるいは「道真の怨霊が雷神となり、それが天に満ちた」ことがその由来という。

没後の菅原道真を神格化した呼称、あるいは神格化された道真を祀る神社。

天神信仰、天満宮の主神。 学問の神で雷神。